

がん薬物療法計画指示書（大腸癌）

主治医（指示医） _____

指示日 年 月 日

レジメン名 sLV5-FU2 + BV 療法

【1クールの日数 14日】

1. 治療予定期間 _____ 年 月 日 ~ _____ 年 月 日
 ・実施クール () クール目

2. 適応 (治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌)
 一次治療(術後補助療法を除く)・二次治療：増悪以外(副作用、患者希望など)

3. 使用薬剤・投与量

薬剤名	用量	実投与量	投与方法	輸液
①ペバシズマブ(100mg：400mg)	5mg/kg	mg	d. i. v.	生理食塩液 100mL
②レボホリナート(25mg：100mg)	200mg/m ²	mg	d. i. v.	5%ブドウ糖 250mL
③フルオロウラシル(250mg：1000mg)	400mg/m ²	mg	d. i. v.	5%ブドウ糖 50mL
④フルオロウラシル(250mg：1000mg)	2400mg/m ²	mg	cont. d. i. v.	生理食塩液 _____ mL

4. 投与レジメン

投与日	投与時間	薬剤
Day 1	15min	グラニセトロン 3mg バッグ + デキサート 6.6mg div.
	※90・60・30min	生理食塩液 100mL + ペバシズマブ _____ mg div.
	2hr	5%ブドウ糖 250mL + レボホリナート _____ mg div.
	全開で	5%ブドウ糖 50mL + フルオロウラシル _____ mg div.
※入院で実施する場合	輸液ポンプ使用 3mL/hr で46hr	フルオロウラシル _____ mg (_____ mL) + 生理食塩液 _____ mL 合計 138mL ※全量 138mL に調製します。
※外来で実施する場合	インフューザー ポンプ使用 2.5mL/hr で46hr	フルオロウラシル _____ mg (_____ mL) + 生理食塩液 _____ mL 合計 _____ mL

※ ただし、ペバシズマブの投与時間は初回投与 90 分間かけて点滴静注して下さい。初回投与時の忍容性が良好であれば、2 回目の投与は 60 分間にすることができ、さらに 2 回目投与時の忍容性も良好であれば、それ以降の投与は 30 分間にすることができます。

※ 入院時または外来時でフルオロウラシルを 46 時間持続静注する場合、上記のレジメンに従ってどちらかを選び入力して下さい。(不要な Rp. は削除して下さい)